

安全データシート

ページ: 1/15

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 11. 2017

製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

1. 製品及び会社情報

Cascade 10 EC カスケード乳剤

用途: 農薬製品, 殺虫剤

会社名:

BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:

電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】:

吸引性呼吸器有害性: 区分 1
皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 2A
生殖毒性: 区分 授乳に対するまたは授乳を介した影響
生殖毒性: 区分 1B (胎児)
特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)
水生環境有害性 (急性): 区分 1
水生環境有害性 (長期間): 区分 1

【GHSラベル要素】:

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

H319	強い眼刺激。
H315	皮膚刺激。
H304	飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H362	授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
H335	呼吸器への刺激のおそれ。
H360	胎児への悪影響のおそれ。
H400	水生生物に非常に強い毒性。
H410	長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き（安全対策）:

P280	保護手袋／保護衣／安全眼鏡を着用すること。
P271	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P260	ミスト/蒸気を吸入しないこと。
P202	全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P263	妊娠中／授乳期中は接触を避けること。
P264	取扱後は汚染された部位をよく洗うこと。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

注意書き（応急措置）:

P312	気分が悪いときは医師に連絡すること。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
P308 + P311	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
P303 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けんで洗うこと。
P391	漏出物を回収すること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P331	無理に吐かせないこと。
P337 + P311	眼の刺激が続く場合：医師に連絡すること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぎ、そして再使用する場合には洗濯をすること。

注意書き（保管）:

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 06. 11. 2017
 製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 P405 施錠して保管すること。

注意書き (廃棄) :

P501 適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄
 処理業者に廃棄を委託すること。

他の危険有害性:

12章のPBT (難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質) とvPvB (難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質) の評価結果を参照。

この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学特性

単一製品・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 殺虫剤, 乳剤

危険有害成分

1- [4- [2-クロロ-4- (トリフルオロメチル) フェノキシ] -2-フルオロフェニル] -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

含有量 (W/W): 10 %

CAS番号: 101463-69-8

生殖毒性: 区分 (追加) : 授乳に対するまたは授乳を介した影響

水生環境有害性 (急性): 区分 1

水生環境有害性 (長期間): 区分 1

M-ファクター急性: 10000

M-ファクター慢性: 10000

ソルベントナフサ

含有量 (W/W): < 50 %

CAS番号: 64742-94-5

吸引性呼吸器有害性: 区分 1

水生環境有害性 (急性): 区分 2

水生環境有害性 (長期間): 区分 2

1-メチル-2-ピロリドン

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 06. 11. 2017
 製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

含有量 (W/W): < 25 %	引火性液体: 区分 4
CAS番号: 872-50-4	急性毒性: 区分 5 (経口)
化審法番号: (5)-113	皮膚腐食性/刺激性: 区分 2
労働安全衛生法: (5)-113	眼に対する重篤な損傷性/刺激性: 区分 2A
	生殖毒性: 区分 1B (胎児)
	特定標的臓器毒性 (単回暴露): 区分 3 (呼吸器系を刺激する)

1,2-ジメチル-4-(1-フェニルエチル) ベンゼン
 含有量 (W/W): < 10 %

ナフタレン

含有量 (W/W): < 1 %	急性毒性: 区分 4 (経口)
CAS番号: 91-20-3	発がん性: 区分 2
化審法番号: (4)-311	水生環境有害性(急性): 区分 1
労働安全衛生法: (4)-311	水生環境有害性(長期間): 区分 1
	M-ファクター急性: 1
	M-ファクター慢性: 1

4. 応急措置

[一般的なアドバイス]:

救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。患者が意識を失いそうになったら、横向き（回復体位）で安静に寝かせ、搬送する。汚れた衣服は直ちに置き替える。

[吸入した場合]:

安静にし、新鮮な空気のある場所へ移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:

直ちに水と石鹼で十分に洗い流し、医師の診察を受ける。

[眼に入った場合]:

直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:

直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医師の診察を受ける。誤嚥（飲食物や唾液が誤って気管に入って しまうこと）のおそれがあるため、吐かせないこと。

[医師に対する特別な注意事項]:

症状: 最も重要な症状や影響はラベル（第2章を参照）や第11章に記載されている。、その他の重要な症状や影響は今のところ知られていない。

処置: 症状に応じて処置（洗浄・機能回復）を講じる。特に解毒剤なし。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06. 11. 2017
製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
二酸化炭素, 泡, 粉末, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:
棒状放水

[特有の危険有害性]:
一酸化炭素, 二酸化炭素, 塩化水素, フッ化水素, 窒素酸化物, 有機ハロゲン化合物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火を行う者の保護具]:
自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:
火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項]:
蒸気／スプレーを吸入しないこと。保護具を着用する。皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:
土壌中に放出しないこと。排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
少量の場合: 吸着剤に吸収させ回収し処分する (例: 砂、おが屑、珪藻土)。
大量の場合: せき止める。ポンプで容器に回収する。
廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。法令に従って吸着剤を廃棄すること。適切な保護装置をつけること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。作業場の換気を十分に行う。使用時には飲食または喫煙をしないこと。作業後に手洗い、洗眼をする。飲食場所に入る前に、汚れた衣服や保護具は脱ぐこと。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06. 11. 2017
製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

安全取扱注意事項:

蒸気は空気中で爆発性の混合物を形成する可能性がある。静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。

保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。直射日光を避ける。

保管安定性:

保管期間: 48 月

8. ばく露防止及び保護措置**許容濃度**

ナフタレン, 91-20-3;

経皮吸収の危険性あり。(ACGIHTLV)

本物質は皮膚を通して吸収される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 10 ppm (ACGIHTLV)

TLV (threshold limit value : 管理濃度) 10 ppm (労働安全衛生法 (JP))

(日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP))

本規制の対象であるが、データ値なし。詳細については、規制を参照のこと。

1-メチル-2-ピロリドン, 872-50-4;

経皮吸収の危険性あり。(日本産業衛生学会 職業ばく露限度 (JP))

本物質は皮膚を通して吸収される。

TWA (time weighted average : 時間加重平均) 4 mg/m³ ; 1 ppm (日本産業衛生学

会 職業ばく露限度 (JP))

【保護具】

[呼吸用保護具]:

低濃度において、または短時間有効な適切な呼吸保護具: 有機、無機、酸性無機、アルカリ性化合物及び有毒粒子のガス/蒸気用複合フィルター EN 14387タイプ ABEK-P3

[手の保護具]:

長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋 (EN 374) (保護指針6に準ずることが望ましい。EN 374によると、透過時間は480分以上であること): ニトリルゴム (0.4 mm)、クロロプレンゴム (0.5 mm)、ブチルゴム (0.7 mm) など。

[眼の保護具]:

サイドシールド (フレームゴーグル) (EN 166準拠) 付き安全眼鏡

[皮膚及び身体の保護具]:

作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。)

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 06. 11. 2017
 製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

[一般的な安全及び衛生対策]:

最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。作業服は、他の物と分けて保管すること。食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

形状:	液体
色:	黄色
臭い:	特異臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 4 - 6 (20 % (m), 20 ° C) (水溶液として)
凝固点:	約 -10 ° C 主成分に基づく情報。
沸点:	204 ° C (1,013 mbar)
引火点:	112 ° C (ASTM D93)
蒸発率:	適用せず
燃焼性 (固体/ガス):	可燃性低い。
爆発範囲の下限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発範囲の上限:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
発火温度:	約 > 450 ° C 情報は溶媒に適用される
熱分解:	通常の手扱い条件下で危険分解物なし。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	火災伝播性はない。

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06. 11. 2017
製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

蒸気圧: 約 0.03 hPa
(20 ° C)
情報は溶媒に適用される

密度: 約 1.07 g/cm³
(20 ° C)

相対蒸気密度 (空気): 適用せず

水に対する溶解性: エマルジョンを形成
n - オクタノール/水分配係数 (log Pow): 適用せず

粘度: 決められていない。

その他の情報:
必要に応じ、この章にその他の物理的、化学的パラメーターの情報が記載される。

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第7項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の実用条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の実用条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。吸入による毒性は実質上なし。単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。

記載物質に関する情報: ソルベントナフサ
実験または計算によるデータ:

BASF 安全データシート

日付 / 改訂: 06. 11. 2017

製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

LD50 (半数致死量) ラット (経口): > 5,000 mg/kg (OECDテストガイドライン420)
本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

記載物質に関する情報: ソルベントナフサ

実験または計算によるデータ:

LC50 (半数致死濃度) ラット (吸入による): > 5.28 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。蒸気で試験した。

記載物質に関する情報: ソルベントナフサ

実験または計算によるデータ:

LD50 (半数致死量) ウサギ (経皮): > 2,000 mg/kg (OECDテストガイドライン402)

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

刺激性

刺激性作用の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

皮膚接触により刺激を生じる。眼に入ると、刺激する。

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン

実験または計算によるデータ:

皮膚腐食性及び皮膚刺激性 ウサギ: 弱い刺激性あり (Draize試験)

文献データ

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン

実験または計算によるデータ:

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 ウサギ: 刺激性あり。(Draize試験)

文献データ

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

記載物質に関する情報: ソルベントナフサ

実験または計算によるデータ:

Buehler法 モルモット: 感作性なし (OECDテストガイドライン406)

本品は未試験である。記述は、本品の類似の構造または組成に基づくものである。

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: ナフタレン**変異原性の評価:**

細菌類に対して変異原性を示さなかった。哺乳類の培養細胞を用いた試験系で変異原性を示した。哺乳類を用いた試験では、変異原性を示さなかった。文献データ

発がん性**発がん性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フルフェノクスロン**発がん性の評価:**

動物実験における腫瘍の誘発は、可逆的であるため、閾値の存在する非遺伝性であった。この物質の低濃度での単回もしくは短期間の曝露の後で、発癌性の可能性は、基本的に除外できる。

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン**発がん性の評価:**

この物質が吸入投与された長期動物試験では、発癌性は認められなかった。この物質が飼料経由で投与されたラット長期試験では、発癌性は認められなかった。げっ歯類への大量投与による長期間の試験において、発癌作用が発見された。しかしながら、この結果は、人間には関係のないげっ歯類特有の肝臓の作用によるものと考えられている。評価できるすべての情報は、発がん効果を示す証拠はない。

記載物質に関する情報: ナフタレン**発がん性の評価:**

この物質が吸入投与されたラット及びマウス長期試験では、発癌性が認められた。EU分類 この物質はドイツMAK委員会によってグループ3発癌性物質（発癌性が疑われる物質）に分類された。IARC (International Agency for Research on Cancer) は、この物質をグループ2B (The agent is possibly carcinogenic to humans.)として分類している。

生殖毒性**生殖毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン**生殖毒性の評価:**

動物試験で示されるように、この製品は、他の毒性効果の原因となるような繰り返しの高曝露の後、精巣に障害を与える可能性がある。

発生毒性

催奇形性の評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フルフェノクスロン

催奇形性の評価:

動物実験では、発生毒性/催奇形性は認められなかった。授乳を通じて子供に害を及ぼす可能性がある。

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン

催奇形性の評価:

この物質は動物実験では発生毒性/催奇形性作用を示した。

特定標的臓器毒性、単回ばく露:**単回暴露評価:**

気道を刺激する可能性がある。

反復投与毒性と特定標的臓器毒性、反復ばく露**反復投与毒性の評価:**

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: フルフェノクスロン

反復投与毒性の評価:

高用量の反復摂取により、この物質は、メトヘモグロビン生成の原因になる可能性がある。

記載物質に関する情報: 1-メチル-2-ピロリドン

反復投与毒性の評価:

反復投与後にみられる顕著な影響は局所の刺激である。この物質は、高用量での反復吸入により睾丸に障害を与える可能性がある。

記載物質に関する情報: ナフタレン

反復投与毒性の評価:

この物質は、繰り返し吸入後、嗅上皮に損傷を起こす可能性がある。

吸引性呼吸器有害性

飲込むこと（嚥下危険）により、肺にも障害を与える可能性がある。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

環境毒性

水生生物に対する毒性の評価:
水生生物に猛毒である。水生環境に長期の悪影響を及ぼす恐れがある。

魚類に対する毒性:
LC50 (半数致死濃度) (96 h) 5.4 mg/l, コイ (学名: *Cyprinus carpio*)

水生無脊椎動物:
LC50 (半数致死濃度) (48 h) 0.092 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

水生植物:
EC50 (72 h) 18 mg/l, 藻類

記載物質に関する情報: 1- {4- [2-クロロ-4- (トリフルオロメチル) フェノキシ] -2-フルオロフェニル} -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

水生無脊椎動物に対する慢性毒性:
無影響濃度 (21 日), < 0.00003 mg/l, オオミジンコ (学名: *Daphnia magna*)

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1- {4- [2-クロロ-4- (トリフルオロメチル) フェノキシ] -2-フルオロフェニル} -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

環境区分間の輸送評価:
水面から大気中に揮発しない。
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1- {4- [2-クロロ-4- (トリフルオロメチル) フェノキシ] -2-フルオロフェニル} -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

生分解性及び除去率の評価 (水中環境):
容易に生分解性されない (OECD基準による)

生体蓄積性

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 06. 11. 2017
 製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

生体蓄積性の可能性評価:

本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報: 1- {4- [2-クロロ-4- (トリフルオロメチル) フェノキシ] -2-フルオロフェニル} -3- (2, 6-ジフルオロベンゾイル) 尿素

生体蓄積性:

生物濃縮係数: 25, 720, ニジマス (学名: Oncorhynchus mykiss)

生体への蓄積はあると考えられる。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:

前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:

使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

危険クラス:	9
容器等級:	III
国連番号:	UN 3082
危険物ラベル:	9, EHSM
正式輸送品目名:	環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。) (内容物 フルフェノクスロン, ソルベントナフサ)

海上輸送

IMDG	
危険クラス:	9
容器等級:	III
国連番号:	UN 3082
危険物ラベル:	9, EHSM
海洋汚染物質:	該当
正式輸送品目名:	環境有害性物質 (液体) (他に品名が明示されているものを除く。) (内容物 フルフェノクスロン, ソルベントナフサ)

Sea transport

IMDG	
Hazard class:	9
Packing group:	III
ID number:	UN 3082
Hazard label:	9, EHSM
Marine pollutant:	YES
Proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains FLUFENOXURON, SOLVENT NAPHTHA)

BASF 安全データシート
 日付 / 改訂: 06. 11. 2017
 製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_GPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

航空輸送

IATA/ICAO
 危険クラス: 9
 容器等級: III
 国連番号: UN 3082
 危険物ラベル: 9, EHS
 正式輸送品目名:
 環境有害性物質(液体)(他に品名が明示されて
 いるものを除く。)(内容物 フルフェノクスロ
 ン, ソルベントナフサ)

Air transport

IATA/ICAO
 Hazard class: 9
 Packing group: III
 ID number: UN 3082
 Hazard label: 9, EHS
 Proper shipping name:
 ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS
 SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (contains
 FLUFENOXURON, SOLVENT NAPHTHA)

15. 適用法令

消防法: 第4類, 第3石油類, 非水溶性

ソルベントナフサ

労働安全衛生法

通知対象物

>45% - <50%

ナフタレン

労働安全衛生法

通知対象物

< 1.0 %

1-メチル-2-ピロリドン

労働安全衛生法

通知対象物

>15% - <25%

1-メチル-2-ピロリドン

労働安全衛生法

表示対象物

1-メチル-2-ピロリドン

化審法

優先評価化学物質

ソルベントナフサ

労働安全衛生法

第3種有機溶剤

>45% - <50%

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン

化審法

優先評価化学物質

< 10 %

BASF 安全データシート
日付 / 改訂: 06. 11. 2017
製品: Cascade 10 EC / カスケード乳剤

バージョン: 4.2

(30333421/SDS_CPA_JP/JA)

印刷日 08.03.2019

表示すべき危険有害性決定要素: フルフェノクスロン, ソルベントナフサ, 1-メチル-2-ピロリドン

その他の規則

この農業を使用する場合、ヒトおよび環境への危険を避けるために、使用説明書に従うこと。
(1999/45/EC、第10条、1.2項。)

16. その他の情報

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。